

Kashiwaba Neurosurgical Hospital



社会医療法人 柏葉会

柏葉脳神経外科病院 看護職員募集案内

2024年秋
札幌リードタウン平岸ベースに新病院開院



柏葉脳神経外科病院は 高度な技術とスキルを持つ 脳と神経の専門病院です

柏葉脳神経外科病院は1971年に開院し、脳・脊髄・末梢神経の病気を診る、地域の専門病院として歴史を重ねてきました。対象疾患には長期的なケアが必要になる症例が多く、急性期から在宅まで一貫して関わりながら、的確なチーム医療を提供し、救命率向上や障害の軽減を目指します。

脳神経外科病院の社会的役割は高齢化が進む中、ますます重要になっています。

診療科

脳神経外科

脳神経内科

循環器内科

リハビリテーション科

放射線科

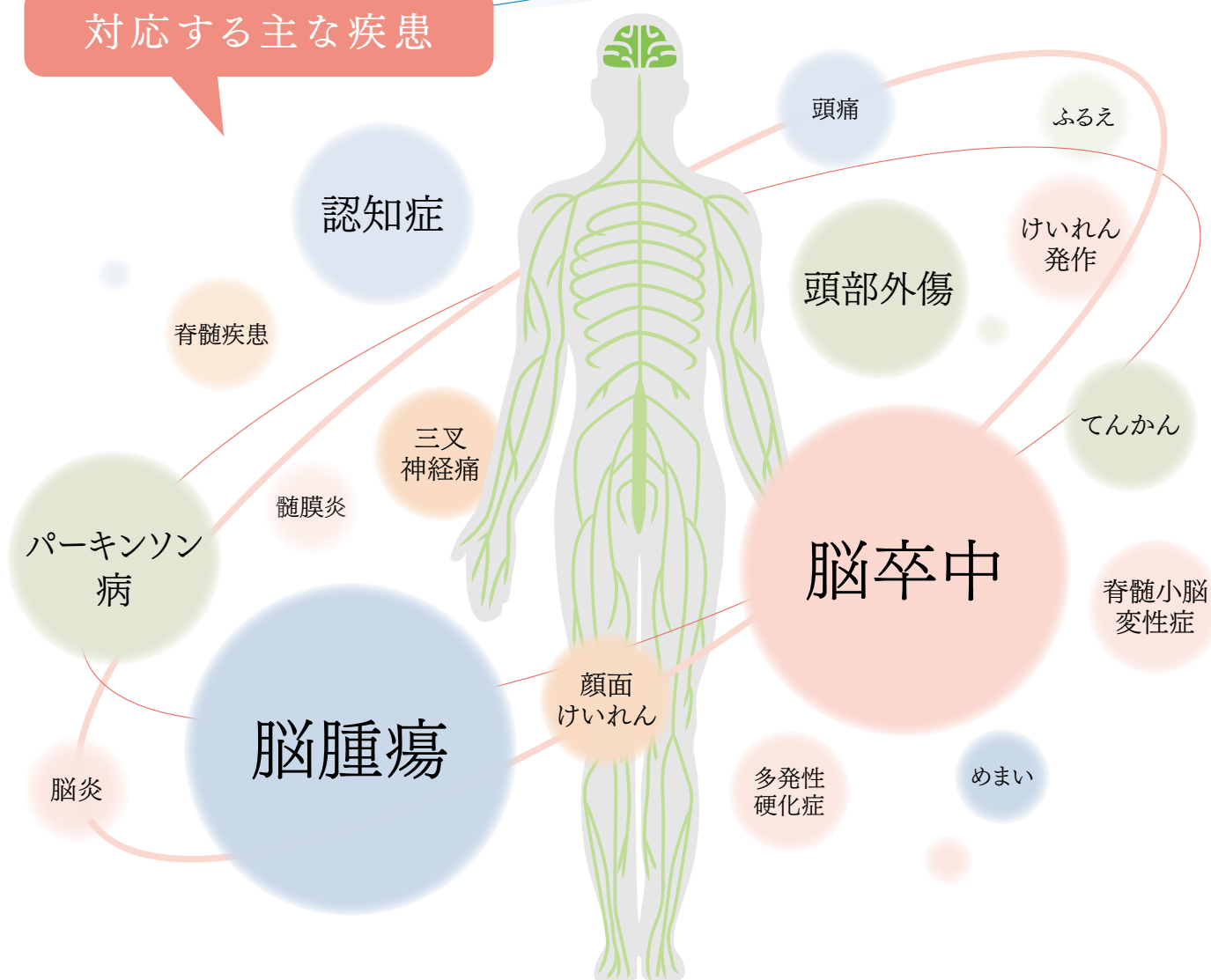
麻酔科

専門外来

もの忘れ

脳動脈瘤

対応する主な疾患



診療実績 (2022年)

外来初診数
5,849件



外来再来数
11,253件



入院患者数
1,797人



救急車搬入数
1,912件



手術件数
450件
DPCデータによる

病院理念

信頼と尊敬の医療

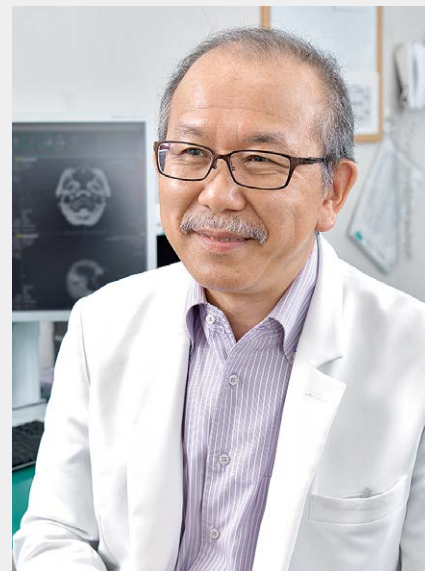
2020年3月に社会医療法人の認可を受け、ロゴを刷新しました。緑色の部分で柏の葉と脳を、水色の三日月で信頼を、紫の三日月で尊敬を表現しました。真ん中の白い丸部分は地球です。世界標準の医療を目指していることを伝えています。ロゴ全体は柏葉会の頭文字Hで、活力を取り戻した人のパワーを重ねています。



ロゴマーク

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります



社会医療法人柏葉会 理事長
柏葉脳神経外科病院 院長

寺坂 俊介

【資格】

日本脳神経外科学会専門医
難病指定医
小児慢性特定疾病指定医
医学博士

しなやかな強さと豊かな想像力を

脳神経外科病院の治療のゴールは「救命」から「機能予後向上」へと拡大し、近年は「予防」や「失われた機能の再建」がクローズアップされています。

私たちは、こうした社会の動きに応えるため、先端医療技術を駆使し、札幌で世界標準の脳神経外科医療の提供を目指しています。

医師、看護師、診療放射線技師、リハビリテーションスタッフなどの多職種が協働し、一人一人の患者さんに合わせた医療を実践・展開します。中でも看護師は患者さんやご家族にとって身近な存在です。診断や治療の飛躍的な進歩に携わりながら、「その人らしさ」を大切にすることを追求できる体制が当院の強みです。

先輩から専門知識と技術を学び、「しなやかな強さ」と「豊かな想像力」を持って、仲間と力を合わせて患者さんを支えましょう。



超急性期から在宅までを支える

脳と神経の専門看護

柏葉脳神経外科病院 看護部 理念

その人らしさの探求

豊かな感性で 患者さんを受け止める看護を提供しています

当院に入院する患者さんのほとんどは、突然の発症で手足が動かしにくくなったり、飲み込みができなくなったなど、脳の病変による運動麻痺や感覚障害に直面しています。中には意識がない中で治療を開始せざるを得ない状況の患者さんもいます。中でも脳卒中は、命を取り留めても深刻な後遺症が残る場合があり、これまで普通に生活していた患者さんの生活を一変させます。

看護部が理念として掲げる「その人らしさの探求」は、患者さんの個性を尊重し一人一人の患者さんの思いを受け止める看護です。患者さん個々の治療や看護だけでなく、その後の人生や生活をどうするかまでを考えてサポートしなければなりません。人生において大事にしている価値観や生活の質に配慮したケアを提供することが、私たち看護師に求められています。

看護の第一歩は患者さんの立場を理解することです。さらに、その人らしい生き方を支援する医療・看護の確かな知識と技術、迅速で適切な判断力が必要になります。

私たちは、当院に來られる患者さんや地域の皆様の信頼に応えられる看護を提供できるよう、看護職員の実践力を高める教育に力を入れています。



看護部長 小林 利絵子

看護職員数

170人

(非常勤・パート職員含む)

2023年10月1日現在

病床数

144床

| | |
|-----------------|------------|
| A館3階病棟 (SCU15床) | 3:1 入院基本料 |
| A館3階病棟 (35床) | 7:1 入院基本料 |
| A館2階病棟 (50床) | 7:1 入院基本料 |
| B館2階病棟 (44床) | 13:1 入院基本料 |

看護単位

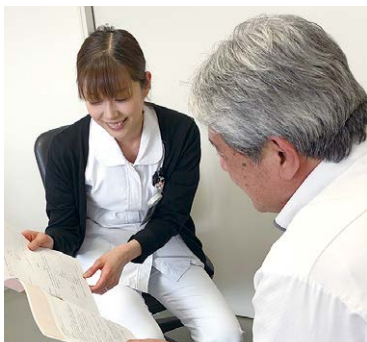
5看護単位

病棟3、外来、手術室

看護部 各部署の紹介

外来

定期受診や救急搬送された患者さんの診療をサポートし、病院と地域医療機関との橋渡し役も担います。



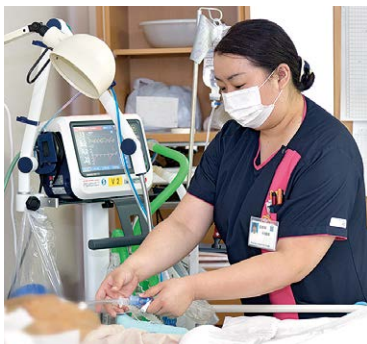
脳卒中 ケアユニット

救急搬送された脳卒中の患者さんの急性期治療や術後管理、急変時の集中的な治療を24時間体制で支えます。



急性期病棟

脳卒中・脳腫瘍・外傷性疾患などの発症後1カ月の患者さんの全身管理と周術期ケアを行っています。



地域包括ケア 病床

院内の多職種や地域の関係職種と連携し、急性期治療を終えた患者さんの在宅復帰を支援します。



回復期 リハビリテーション 病棟

患者さんの日常生活動作や意欲の向上を目指すリハビリテーションが安心・安全に進められるよう援助します。



手術室

年間350件以上の手術が行われている手術室の環境や準備を整え、器械出しや物品チェックを行います。



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

急性期から自宅退院を見据え患者さんをサポート

当院には「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師」が在籍しています。急性期から自宅退院を見据えて患者さんと関わり、病棟看護師と一緒に合併症の予防や再発防止のための生活指導

などを行っています。脳卒中リハビリテーションに関わるスタッフが一丸となって患者さんをサポートできるよう指導やアドバイスも行います。



優しさと知恵をもち、 常に自分を磨く自律した看護者を育てる

—— 看護部教育理念

看護の基本的な知識や技術を身に付ける 1年目研修

プリセプターや新人教育担当者だけでなく、スタッフ全員で新人看護職員を育てます。1年間を通した研修プログラムで少しずつ確実に看護技術を習得できます。



| | 研修内容 | 講師 |
|-----------------------------|--------------------------|------------------------------|
| 4月 | 看護部研修オリエンテーション | 教育担当主任 |
| | 看護部オリエンテーションⅠ | 看護部長 |
| | 看護部オリエンテーションⅡ | 副看護部長 |
| | 看護部教育体制と新人看護職員研修制度 | 教育担当主任 |
| | 医療安全 | 医療安全管理者 |
| | 薬剤の基礎知識 | 薬剤科 |
| | 与薬の基本 | 看護主任 |
| | 脳神経外科の疾患と症状 | 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 |
| | 脳/神経症状の観察とアセスメント | 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 |
| | 日常生活援助Ⅰ：起立動作・移動動作の基本 | 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 |
| | 日常生活援助Ⅱ：ポジショニング（褥瘡予防を含む） | 褥瘡対策委員会専任看護師 |
| | 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 | 看護主任 |
| | 日常生活援助Ⅲ：転倒転落防止 | 看護主任 |
| | 感染管理 | 感染管理責任者 |
| | 日常生活援助Ⅳ：病衣交換・オムツ交換 | コンチネンス委員 |
| | 5月 | 看護支援システム操作【看護記録・各種アセスメント入力等】 |
| 看護必要度について | | 業務改善委員 |
| 配属前オリエンテーション | | 看護主任 |
| シャドー研修（所属部署にて） | | 部署スタッフ |
| 接遇研修 | | 院外講師 |
| 採血・注射法 | | 看護主任 |
| 点滴静脈注射法 | | 看護主任 |
| 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用方法 | | 看護主任 |
| ME機器の管理と取り扱い | | 臨床工学科 |
| 日常生活援助Ⅴ：排泄ケア（導尿・膀胱留置カテーテル等） | | 看護主任 |
| 日常生活援助Ⅵ：摂食嚥下障害の看護ケア | | 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 |
| 6月 | 脳外科専門領域看護 | 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 |
| | メンタルヘルスケア/チームビルディング研修 | 新人教育担当者 |
| 7月 | 医療安全研修<KYT研修> | 看護主任 |
| 8月 | 急変時看護<BLS～ACLS> | 看護主任 |
| 10月 | 看護技術フォローアップ研修 | 新人教育担当者 |
| | リフレッシュ研修 | 新人教育担当者 |
| | 夜勤シャドー研修 | 部署スタッフ |
| 11月 | 多重課題シミュレーション研修 | 教育委員 |
| 3月 | 1年目研修（ナラティブ研修） | 新人教育担当者 |



目指す未来へのステップアップ

自分の能力やライフスタイルに応じて、キャリアをデザインできます。看護部では個々の能力段階に応じた教育支援を行っています。階段を昇るように、看護技術が身に付きます。

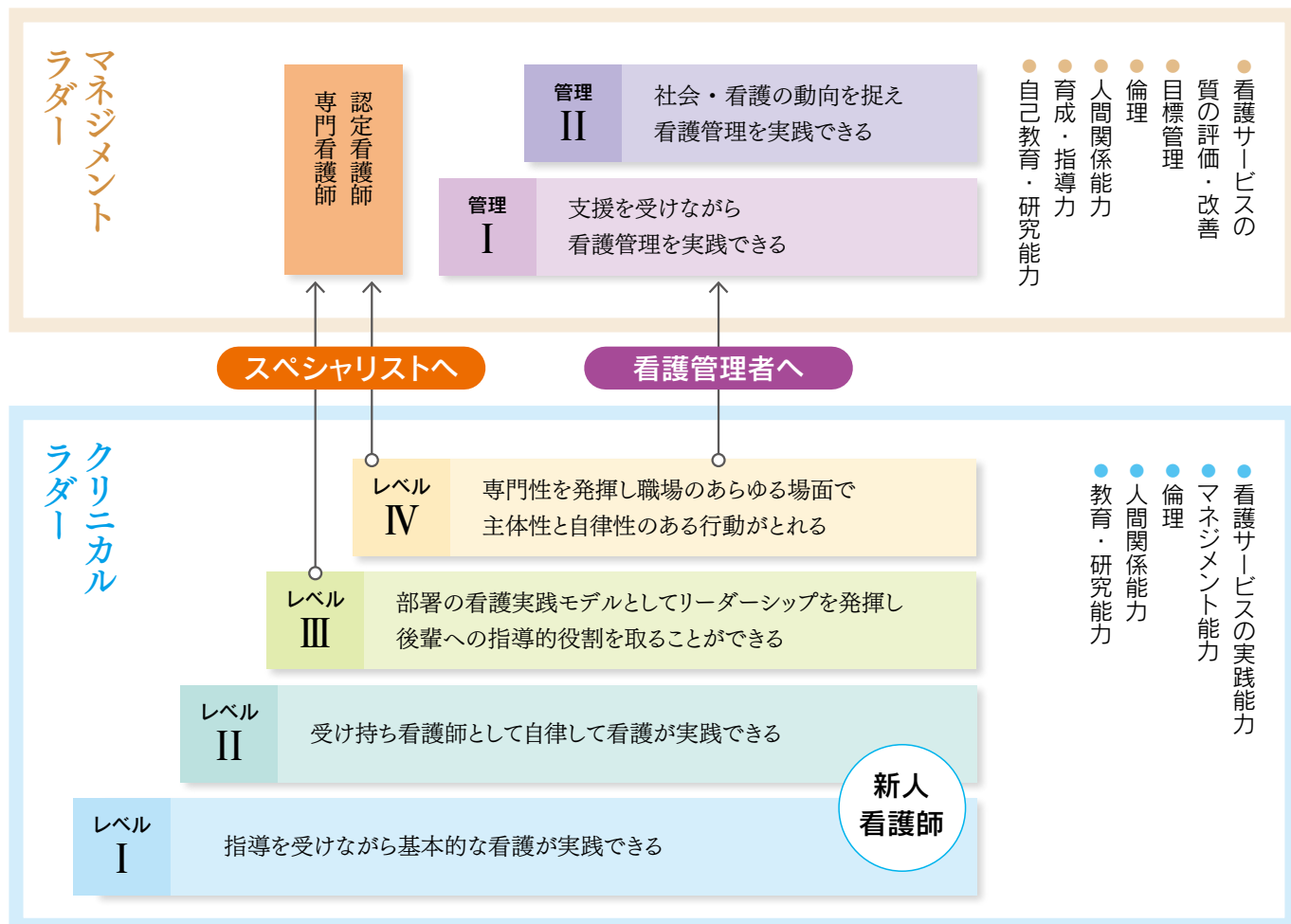
看護のスペシャリストを目指す

専門看護師・認定看護師は、看護の質向上を目的に設けられた日本看護協会の資格認定制度です。当院では「急性・重症患者看護専門看護師」「老人看護専門看護師」「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師」「認知症看護認定看護師」「皮膚・排泄ケア認定看護師」など、脳神経疾患に関係する専門・認定看護師の育成を支援しています。

看護管理者を目指す

看護管理者は、管理職として看護部の一部または全体のマネジメントを担う重要な存在です。看護スタッフを束ね、チーム力を高めて現場を動かします。病院管理者と共に病院全体を見ながら、理想の看護を追求する役割を担います。

臨床看護師実践能力を身に付けられるキャリアラダーの概念図



社会医療法人 柏葉会 柏葉脳神経外科病院

〒062-8513 札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20

代表電話 **011-851-2333**

代表FAX **011-851-2131**

患者支援センター (A館1階) 電話 **011-851-2370** FAX **011-851-9466**

標榜科目 | 脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科 (瀧田 恒一)

病床数 | 許可病床 (一般: 67床、SCU: 15床、地域包括ケア病床: 18床、)
144床 (回復期リハビリテーション: 44床)

駐車場 | 55台

| | | |
|------|----------------|------------------------|
| 関連施設 | 法人本部 | 電話 011-850-5033 |
| | かしわば記念クリニック | 電話 011-851-2580 |
| | 白石中央病院 | 電話 011-861-8171 |
| | 訪問看護ステーションふくずみ | 電話 011-855-2933 |
| | ケアプランセンターかしわば | 電話 011-855-3031 |
| | デイケアセンター笑るむ | 電話 011-850-5041 |



救急指定病院

救急患者さんは、診療日・診療時間を問わず
24時間365日診察しております

法人職員数 | 495人

(2023年10月1日現在)

沿革

1971年4月19日
柏葉脳神経外科医院開院

1975年10月
柏葉脳神経外科病院となる

2020年3月1日
特定医療法人から社会医療法人への移行に伴い
「社会医療法人 柏葉会」に名称変更

2021年10月20日
かしわば記念クリニック開院

2022年1月17日
かしわばワクチンクリニック開院

2023年7月3日
医療法人 白石中央病院と合併

診療のご案内

診療時間 月・火・木 9:00~17:00 水・金 9:00~12:00

受付 月・火・木 8:30~11:30 / 13:00~16:00
水・金 8:30~11:30

休診日 土・日・祝・年末年始(12月30日~1月3日)

外来診療

脳神経外科

脳神経内科

循環器内科 [予約制]

専門外来 [予約制]

脳血管病外来

FUS (集束超音波) 外来

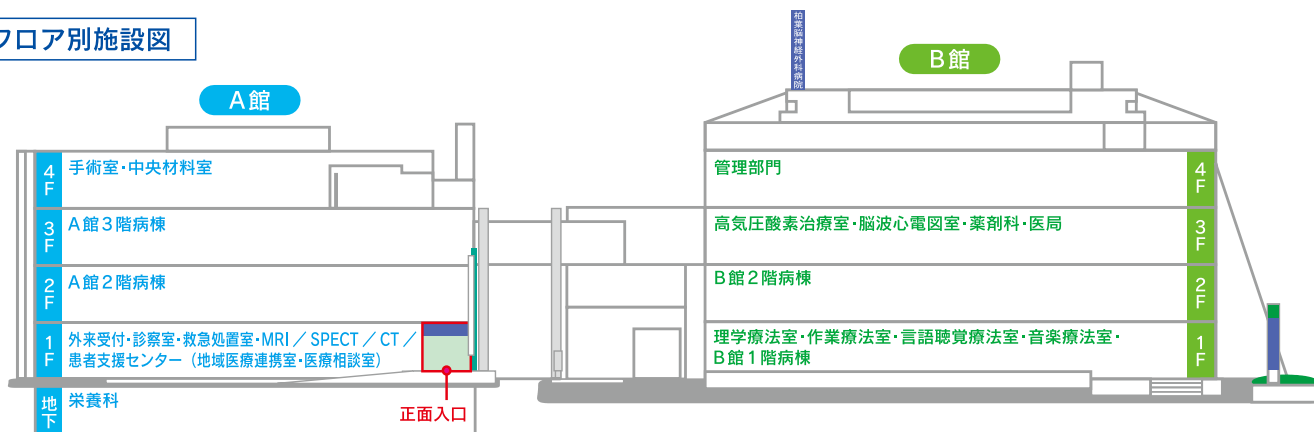
予約電話番号

011-851-2370

予約受付時間

月~金 9:00~17:00

フロア別施設図



主な施設認定

- ◆ 日本脳卒中学会一次脳卒中センター (PSC) コア
- ◆ 日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
- ◆ 日本脳卒中学会認定研修教育病院

主な設備

- MRI装置 (磁気共鳴断層撮影装置 サイレント3.0T×1台、1.5T×2台)
- 80列CT装置
- FUSの超音波発生装置
- カラー超音波診断装置
- 高気圧酸素治療装置
- 音楽療法室
- 血管撮影装置 (DSA)
- 核医学検査装置 (脳血流SPECT、Dat Scanなど)
- 手術ナビゲーションシステム
- 理学療法室
- ADL室
- 神経筋電気刺激装置
- 言語聴覚療法室
- ドライブシミュレーター